

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	21—学長—11
-----------------	----------

平成 21 年度配分 研究成果の概要

研究名	富士山静岡空港の魅力を高めるプロジェクト			
配分を受けた特別研究費	学長	特別研究費	4,300	千円
研究者氏名 (代表者)	学部・学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン研究科	教授	寒竹 伸一	全体統括 全体(地域・建築・インテリア)デザイン
共同研究者	デザイン研究科	教授	川口 宗敏	計画コンセプト 全体(地域・建築・インテリア)デザイン
	文化政策研究科	教授	根本 敏行	計画コンセプト
	デザイン学部空間造形学科	講師	中山 定雄	インテリアデザイン
	長谷川逸子建築計画工房	学外協力	長谷川 逸子	建築デザイン
	文化女子大学造形学部	学外協力	横山 稔	インテリアデザイン
	デザイン研究科	大学院生	寺田 隼	図面・模型作成
	デザイン研究科	大学院生	植野 聡子	図面・模型作成
	デザイン研究科	大学院生	河村 浩美	報告書作成
	SUAC 大学院修了生	学外協力	中村 紀章 他数名	制作案作成
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 号 (年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: 富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議での発表		発表日 (発表 予定日)	平成 22 年 7 月 8 日 平成 22 年 11 月

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

富士山静岡空港の魅力を高めるために、空港ターミナルビル及び空港周辺地域を調査・研究し、改善及び新たな価値創出のための地域計画、建築、インテリアからみた具体的なデザイン提案を行うことが目的である。

(研究の実施方法等)

空港周辺地域を調査・研究し、富士山静岡空港の魅力を高めるだけでなく、空港周辺地域をも活性化するランドデザインの作成。

空港ターミナルビル内の特別会議室及び多目的会議室の課題・問題点を抽出し、改善のための具体的なインテリアデザインの作成。

(1) 関係資料の収集

空港及び空港周辺の調査研究に関連した資料や文献の収集。

(2) 関係者ヒアリング

空港関係者、県や空港周辺の自治体などへのヒアリング調査。

(3) デザイン案の作成

当研究プロジェクトのデザイン構想案を、模型、図面、文章などで作成。

(4) デザイン案の提案・発表

当研究プロジェクトによって作成した具体的デザイン構想案を、県や空港周辺の自治体、県主催の富士山静岡空港の魅力を高める有識者会議、関係組織や団体などに提案・発表。

(得られた成果等)

富士山静岡空港を中心とした、周辺地域の活性化を図ることができる計画の立案。

空港ターミナルビルへの来訪者に対するおもてなしの心を高める空間を提供できる空間の立案。